

特別市民セミナー

原爆、ソ連参戦と 日本降伏の決定

太平洋戦争において日本を降伏に導くため、
米ソ間で熾烈な駆け引きがあった。

ポツダム会談から日本降伏決定に至るまでの米ソ間の駆け
引きとは。そして、トルーマンの原爆投下とソ連の参戦は実
際に日本の降伏決定にどう影響したのか。

講師の長谷川毅氏は、「原爆投下は日本を降伏させるための
唯一の手段であり、また原爆投下こそが直ちに日本を降伏に導
いた」という議論に挑戦している。

被爆地・長崎での初講演に、じっくりと耳を傾けたい。



入場無料

事前申込不要

は せ が わ つ よ し
講師 長谷川 毅さん

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 歴史学部名誉教授

プロフィール

北海道大学やカリフォルニア大学サンタバーバラ校で長く歴史学の教鞭をとる。
ロシア史が専門で、日本語で読める著作として『北方領土問題と日露関係』（筑摩
書房、2000年）などがある。ロシアに関する専門的知識を活かして執筆された
『暗闘—スターリン、トルーマンと日本降伏』（中央公論新社、2006年）は、日本
の降伏決定過程をめぐる論争を歴史家の間に引き起こした。

2018 10/10 水

時間 18:30 ~ 20:00

場所 長崎大学文教キャンパス
教養教育棟1階 A-14番教室

主催 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC)
〒852-8521 長崎市文教町 1-14

TEL 095-819-2252 FAX: 095-819-2165

URL <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>

共催 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

長崎大学文教キャンパス

教養教育棟1階 A-14番教室



核兵器廃絶
長崎連絡協議会
PCU-Nagasaki Council

RECNA
長崎大学核兵器廃絶研究センター

長崎大学